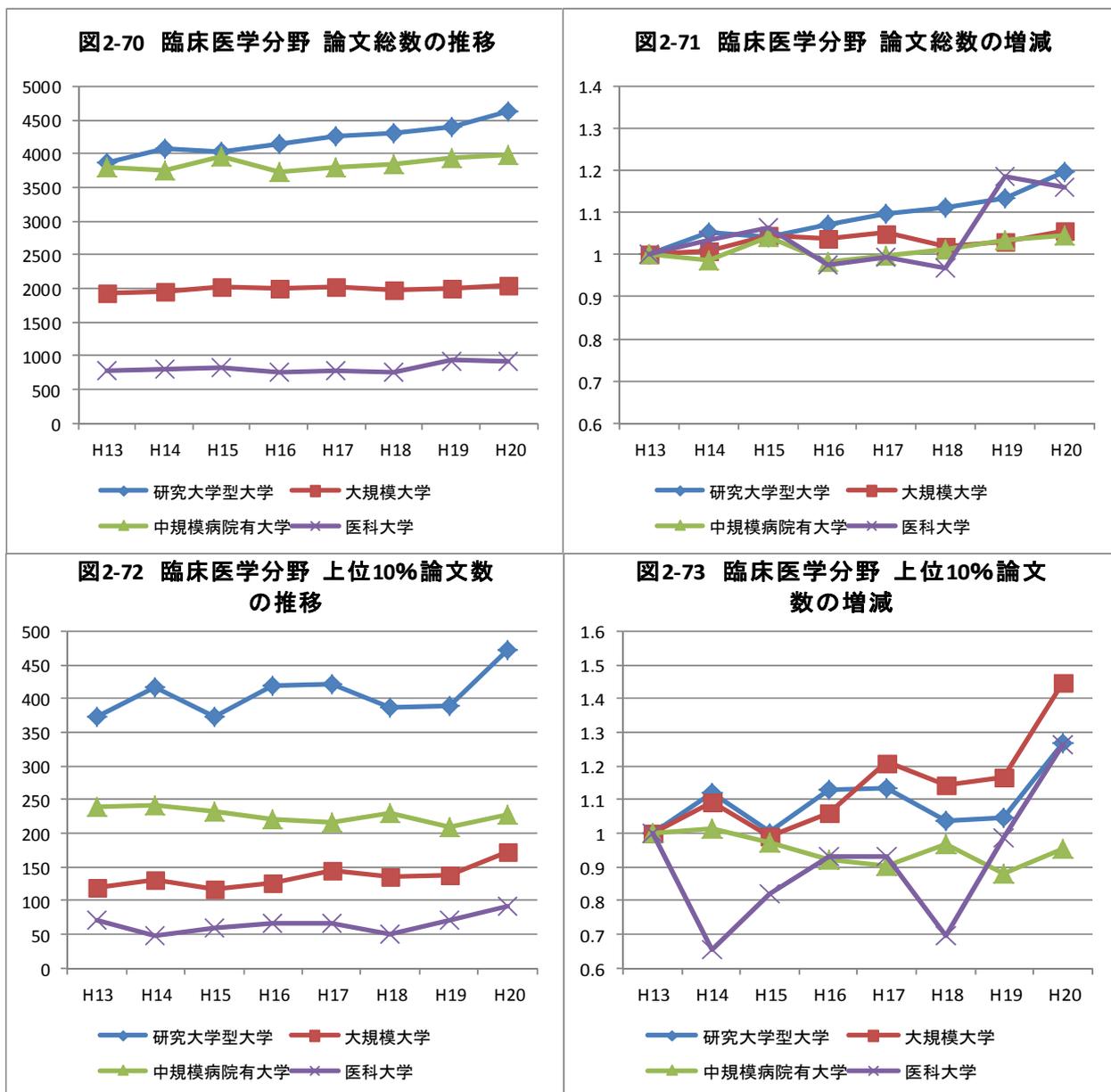


次に臨床医学分野を見ると、論文総数において研究大学型大学が増加しているのに対して、大規模大学と中規模病院有大学は伸びが低い。Top10%論文については研究大学型大学とともに大規模大学がかなり増加しているが、中規模病院有大学はむしろ減少傾向にある。2004年は国立大学が法人化された年であるとともに、医師の卒後臨床研修が必修化された年でもあり、後者の出来事の方が、大都市圏に所在する研究大学型大学と、地方都市に所在する中規模病院有大学に対して異なった影響を与えたのではないかと推測される。



(出典) Thomson Reuters 社刊行"National Citation Report for Japan 2001-2010“(NCR-J)に関する根岸正光名誉教授(国立情報学研究所、総合研究大学院大学)の調査統計結果に基づき内閣府作成。